

特 243

977

臺灣地方自治制改革案

臺灣地方自治聯盟



\* 0008969000 \*

0008969-000

特 243-977

台灣地方自治制改革案

台灣地方自治聯盟

2 版  
昭和 6

ABI

3  
28

特243  
977

# 臺灣地方自治制改革案

## 目錄

臺灣地方自治制改革趣旨	一
臺灣地方自治制改革大綱	七
臺灣地方自治制改革要項	九
希望事項	三二



楊肇嘉氏  
寄贈本

## 臺灣地方自治制改革趣旨

惟フニ立憲政治ノ要諦ハ輿論ヲ尊重シ人民ヲシテ政治ニ參與セシムルニ在リ。是レ獨リ人民ニ責任ノ自覺ヲ喚起シテ協力一致國政ニ當ラシメ得ルノミナラス亦民情吐露ノ合法的機會ヲ與ヘテ政治上ノ暴力的變革ヲ未然ニ防止シ得ルモノナリ。領臺已ニ四十年近ク立憲帝國ノ版圖下ニ在リ乍ラ未タ根本的參政權ナク又完全ナル地方自治制ノ實施ヲモ見ルニ至ラサルハ甚タ遺憾ニ堪ヘス。抑々地方自治ハ立憲政治ノ基礎的要件ニシテ地方ノ事情ニ詳シク且ツ利害關係ノ密接ナル地方民

衆力該地方ノ公共事務ノ運用ニ參與シ以テ政治的責任  
觀念ノ涵養ト其ノ訓練ヲ爲スコトハ立憲政治ニ到達ス  
ヘキ理想的捷徑ナリト謂フヘシ。試ミニ英國憲政發達  
ノ原因及ヒ其ノ經路ヲ見レハ益々斯ル感ヲ深クセス  
ハアラス。宜ナル哉内地々方自治制ノ創設ニ當リ時ノ  
内務大臣山縣有朋公カ國會開設以前ニ萬難ヲ排シテ先  
ニ地方自治制ヲ斷行シタルハ以テ此ノ間ノ關係ヲ窺フ  
ニ足ルヘシ。殊ニ根本的參政權ヲ有セサル臺灣ニ在リ  
テハ斯ル意味ニ於テ完全ナル地方自治制ヲ實施スルノ  
必要ハ他ニ比シテ更ニ痛切ヲ加フルモノアリ。臺灣ノ  
現行地方制度ハ地方團體ノ形體ヲ略備ヘタリト雖モ民

選議決機關ヲ缺如シタル爲メ毫モ地方自治ノ實質ヲ有  
セサルコトハ今更贅言ヲ要セス。斯ルカ故ニ政府當局  
ハ既ニ實施ノ日ニ之ヲ以テ完全ナル地方自治ニ至ル階  
梯タラシメ改革ヲ他日ニ期センコトヲ宣明シタルニア  
ラスヤ。島内民衆ハ有名無實ノ制度ニ失望シ乍ラ當局  
ノ言ニ信賴シ改革ノ希望ヲ將來ニ寄セテ十數星霜ヲ閱  
シタリ。然ルニ政府當局ハ未タ具體的改革案ヲ公表セ  
サルノミナラス却テ新ニ諮問機關ノ議員ヲ任命シ現行  
制度ノ維持ニ努メタリ。是レ時代思潮ト民衆輿論ヲ無  
視シタル無謀ノ處置ト謂ハサルヘカラス。島外ノ情勢  
ヲ瞥見スルニ時代ノ進運ハ遂ニ帝國北端ノ樺太ニ地方

自治ヲ確立セシメ前期帝國議會衆議院ニ於テ朝野兩黨協力ノ下ニ内地婦人公民權案ヲ通過セシメ且ツ朝鮮當局ヲシテ其ノ地方制度ニ付キ從來ノ民選ノ範圍ヲ擴大シ諮問機關ヲ議決機關ニ改メ以テ地方自治ヲ確立センコトヲ公表セシメタルニアラスヤ。我カ臺灣ノ情勢ヲ顧ルニ日本帝國ノ版圖ニ歸シテヨリ四十年近ク其ノ間臺灣ノ民衆ハ物質的精神的ニ凡ユル犠牲ト努力ヲ惜マズ政府當局ト協力シ遂ニ隔世ノ感アル今日ノ臺灣ノ文化ヲ見ルニ至レリ。又世界的思想混亂ノ渦中ニ在リテ獨リ臺灣ハ文化ノ及フトコロ凡テ安寧秩序ヲ極メテ今昔ノ感ニ堪ヘサルモノアリ。斯ル文化ノ長足的進歩ト

社會的平和ヲ出現シ得タルハ世界ノ殖民史ニ徴シテ稀ニ見ルトコロナリ。是レニ由テ之ヲ觀ルニ如何ニ臺灣民衆カ誠心誠意ニ政府當局ト協力シテ新臺灣ノ建設ニ貢獻シ來リタルカヲ立證シテ餘リアリ。故ニ此ノ見地ニ於テモ今臺灣民衆カ完全ナル地方自治制ノ確立ヲ熱望スルハ斷シテ過分ナル要求ニアラサルヲ知ルヘシ。勿論地方自治ヲ確立スルニハ民衆ニ之ヲ運用スル智力ト其ノ經費ヲ負擔スル財力トヲ具備セサルヘカラス。假令民衆ノ智力ヲ其ノ教育程度ニ依リ民衆ノ財力ヲ其ノ納稅能力ニ依テ評價スル方法ヲ是認シテモ臺灣民衆ハ不合理ニモ未タ義務教育ヲ施行セラレサルニ拘ラス

其ノ就學率ニ於テ將又多ナル納稅義務ヲ負擔シテ夙ニ財政的獨立ヲ爲シ且ツ中央ノ財政ニ少カラス貢獻シ來リタル點ニ於テ何處ニ樺太朝鮮ノ民衆若クハ内地ノ婦人女子ニ劣ルモノアランヤ。十數年間訓練ト經驗ヲ重ネタル臺灣民衆ハ今ヤ沈黙ヲ破リテ全島ニ民選議決機關ノ要求ヲ絶叫シテ止マス時代ノ趨勢ト民衆ノ輿論トニ適應スル施設ヲ爲スハ是レ政府當局ノ最大要務ナルニ拘ラス尙低徊躊躇シテ決スル所ヲ知ラサルハ甚タ遺憾ニ堪ヘサルナリ。茲ニ本聯盟ハ島内民衆ノ要求ニ鑑ミ内地ノ實際ニ照シ臺灣地方自治制改革案ヲ提示シテ政府當局ニ之カ斷行ヲ促サントスルモノナリ。

## 臺灣地方自治制改革大綱

- 第一 普通選舉ニ依ル公民權ヲ賦與スヘシ
- 第二 州市街庄ノ自主權ヲ確立スヘシ
- 第三 官任諮問機關ヲ民選議決機關ニ改メ其ノ職務權限ヲ明確ニスヘシ
- 第四 執行機關ノ組織ヲ改革シ其ノ職務權限ヲ明確ニスヘシ
- 第五 州市街庄ニ於ケル財政ノ管理權ヲ確立スヘシ

## 臺灣地方自治制改革要項

第一、普通選舉ニ依ル公民權ヲ賦與スヘシ

(一) 帝國臣民タル年齢二十年以上ノ男子ニシテ二年以來市、街庄、住民タル者ヲ市、街庄公民トシ公民權ヲ賦與スル事

但シ左記ノ者ヲ缺格者トス

- (1) 禁治産者及準禁治産者
- (2) 破産者ニシテ復權ヲ得サル者
- (3) 貧困ニ因リ生活ノ爲メ公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受ケル者
- (4) 一定ノ住居ヲ有セサル者
- (5) 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

## 臺灣地方自治制改革要項

第一、普通選舉ニ依ル公民權ヲ賦與スヘシ

(一) 帝國臣民タル年齢二十年以上ノ男子ニシテ二年以來市、街庄、住民タル者ヲ市、街庄公民トシ公民權ヲ賦與スル事  
但シ左記ノ者ヲ缺格者トス

- (1) 禁治産者及準禁治産者
- (2) 破産者ニシテ復権ヲ得サル者
- (3) 貧困ニ因リ生活ノ爲メ公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受ケル者
- (4) 一定ノ住居ヲ有セサル者
- (5) 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者



(6) 刑法第二編第一章第三章第九章第十六章乃至第二十一章第二十章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クル事ナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

(7) 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終ハリ又ハ執行ヲ受クル事ナキニ至ル迄ノ者

(二) 市街庄公民權ヲ有スル者ハ市街庄ノ選舉ニ參與シ市街庄ノ名譽職ニ選舉セラル、權利ヲ有シ又名譽職ヲ擔任スル義務ヲ有ス

### (三) 選舉權及ヒ被選舉權

#### (1) 選舉權者

市街庄公民ハ總テ選舉權ヲ有ス

陸海軍々人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニヨリ國民軍ニ編入セラレタル者ハ選舉權ヲ有セス。市街庄公民權停止中ノ者亦同シ

#### (2) 被選舉權者

選舉權ヲ有スル市街庄公民ハ被選舉權ヲ有ス

在職ノ檢事、警察官吏及收稅官吏ハ被選舉權ヲ有セス

選舉事務ニ關係アル官吏及市街庄ノ有給吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス市街庄ノ有給ノ吏員教員其他ノ職員ニシテ在職中ノモノハ其ノ市街庄ノ市街庄會議員ト相兼ヌ

ル事ヲ得ス

(四) 州内ノ市街庄公民ニシテ選舉權及被選舉權ヲ有スル者ハ同時ニ州會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

## 第二、州、市街庄ノ自主權ヲ確立スヘシ

州、市街庄ハ州、市街庄住民ノ權利義務又ハ州、市街庄ノ事務ニ關シ州、市街庄條例ヲ設クル事ヲ得州、市街庄ハ州、市街庄ノ營造物ニ關シ州、市街庄條例ヲ以テ規定スルモノノ外州、市街庄規則ヲ設クル事ヲ得

右立法權ノ内容ハ現行市制第二十六條街庄制第二

十九條ニ示サレタルモノト異リ左記ノ事項ヲ規定スルモノトス

州

- 1、各選舉區ニ於ケル州會議員定數
- 2、委員ノ設置、組織、選任及任期等ニ關スル事項
- 3、有給州吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法
- 4、州會議員、名譽職員ノ費用辨償及其ノ支給方法
- 5、有給州吏員ノ退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料及其ノ支給方法
- 6、使用料及手数料ニ關スル事項
- 7、使用料ノ徵收ヲ免レ又ハ州稅ヲ逋脱シタル者ニ過料ヲ科スル規定ノ設定
- 8、使用料、手数料、及州稅ノ賦課徵收並ニ財產又ハ營造物ノ使用ニ關

シ過料ヲ科スル規定ノ設定

### 市街庄

- 1、市街庄會議員ノ定數ノ増減
- 2、市會議員ノ選舉區
- 3、市街庄助役ノ定數増加
- 4、市街庄長助役ヲ有給トナス事
- 5、市街庄有給吏員ノ退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料ノ支給
- 6、使用料、手數料及特別税ニ關スル事項
- 7、財産又ハ營造物ノ使用ニ關シテ過料ヲ科スル事
- 8、督促手數料及納附命令手數料徴收
- 9、其他公債、造林、基本財産蓄積ノ事務等

## 第三、官任諮問機關ヲ民選議決機關ニ改メ其ノ職務權限

ヲ明確ニスヘシ

- (一) 州制第十二條市制第十一條街庄制第十三條ノ諮問機關ナル協議會ヲ州、市、街、庄、會ナル議決機關ニ改メ而シテコレヲ組織スル議員ハソノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之レヲ選舉スル事
- (二) 右市街庄會及州會ノ職務權限ヲ左ノ如ク規定スル事

### 甲、市街庄會ノ職務權限

(1) 議決權

市街庄會ハ市街庄ニ關スル一切ノ事件及法令ニヨリ其ノ權限ニ

屬スル事件ヲ議決スルモノトス

其ノ概目ヲ舉クレハ左ノ如シ

イ、市街庄條例及市街庄規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事

ロ、市街庄費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事

但シ市街庄長又ハ其ノ吏員ニ對スル國家其他上級官廳ノ委任事務又ハ法令ニ特別ナル規定アルモノハ此ノ限リニ非ラス

ハ、歳入出豫算ヲ定ムル事

ニ、決算報告ヲ認定スル事

ホ、市街庄税、使用料、手数料、加入金又ハ夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

ヘ、不動産ノ管理處分取得ニ關スル事

ト、基本財産及積立金穀等ノ設置管理處分ニ關スル事

チ、歳入出豫算ヲ以テ定ムル所ヲ除クノ外新タニ義務ノ負擔又ハ權利ノ放棄ヲナス事

リ、市制第二十七條街庄制第三十條ノ借入金ニ關スル事項

## (2) 選舉權

市街庄會ハ左ノ選舉權ヲ行使スルコトヲ得

市長、助役、會計役、街庄長、助役、會計役、市街庄ノ事務検査委員、市會議長、副議長、街庄會計検査立會議員等ノ選舉

## (3) 事務検査權

市街庄會ハ市街庄ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ市街庄長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ検査スル權能ヲ有ス

尙ホ實地検査ヲ必要トスル場合ニハ議員中ヨリ委員ヲ選任シ理事者側ト立會ノ上之ヲ行フコトヲ得

(4) 意見書提出及行政廳ノ諮問ニ對スル答申

市街庄ノ公益ニ關スル事件ニ付キ意見書ヲ提出シ行政廳ノ諮問ニ對シ答申ヲナス

(5) 發案權

市街庄議員ハ歲入出豫算ニ關スル事項ヲ除ク外市街庄會ノ議決スヘキ事件ニ付キ市街庄會ニ議案ヲ提出スル事ヲ得

(6) 爭議決定權

市街庄會ニハ市街庄會議員選舉ニ於ケル選舉及當選ノ効力ニ關スル異議ノ決定、市街庄會議員ノ被選舉權ノ有無ニ關スル決定ヲナス權能ヲ有ス

### 乙、州會ノ職務權限

州會ハ左ノ三點ヲ除キ市街庄會ノ權限ニ準スヘキ事

(1) 議決權ノ範圍ハ市街庄ノ項ニ於テ列舉セル諸項ニ準據シテ定ム

ルコト

(2) 州會ノ選舉權ハ當分ノ内州會ノ役員正副議長ノ選舉ニツキ之レヲ行フコトニ止メルコト

(3) 市街庄會ノ項ニ列舉セル事務検査權及爭議決定權ハ州會ニ之レヲ專屬セシメサルモ適宜ニ其レニ干與シ得ル權能ヲ認ムル事

### 第四、執行機關ノ組織ヲ改革シ其ノ職務權限ヲ明確ニス

ヘシ

(一) 市制第三條ノ市尹(改市長)ト街庄制第三條ノ街庄長ハ各々市街庄會ニヨリ之レヲ選出スル事

(二) 市街庄ノ助役及會計役ハ市街庄長ノ推薦ニヨリ市街庄會其ノ選任ヲ決定スル事

而シテ會計ノ公正ヲ期スルタメニ收入支出ノ命令權ノ所屬ト出納權ノ所屬トヲ別ニスル目的ヲ以テ會計役ヲ獨立機關トスル事

(三) 市街庄長ノ職務權限

市街庄長ハ市街庄ヲ統轄シ市街庄ヲ代表ス其ノ職務權限ヲ左ノ通り規定シ其レ以上ニ出テサル事

(1) 一般權限

- イ、市街庄會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付キ其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- ロ、財産及營造物ヲ管理スル事
- ハ、收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

ニ、證書及公文書類ヲ保管スル事

ホ、法令又ハ市街庄會ノ議決ニヨリ使用料、手数料、加入金、市街庄稅又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スル事

ヘ、其他法令ニヨリ市街庄長ノ職權ニ屬スル事項

(2) 吏員任免指揮監督並ニ懲戒權

(3) 違法越權ノ議決又ハ選舉ニ對抗スル權

市街庄會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令會議規則ニ背クト認ムル時ハ市街庄長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選ヲ行ハシムヘシ但シ特別ノ理由アリト認ムルトキハ市街庄長ハ議決ニ付テハ之ヲ再議ニ付セスシテ直チニ州會ノ裁決ヲ請フルヲ得

前項ノ規定ニ依リナシタル市街庄會ノ議決仍其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若クハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ市街庄長ハ州會ノ

裁決ヲ請フヘシ

監督官廳ハ前二項ノ議決又ハ選舉ヲ取消ス事ヲ得、第一項若クハ第二項ノ裁決又ハ前項ノ處分ニ不服ナル市街庄長又ハ市街庄會ハ臺灣總督ニ訴願スル事ヲ得  
第一項又ハ第二項ノ裁決ニ付テハ州知事ヨリモ訴願ヲ提起スルヲ得

#### (4) 原案執行權

市街庄會ノ議決明カニ公益ヲ害スルト認ムルトキハ市街庄長ハ其ノ意見ニヨリ又ハ監督官廳ノ指揮ニヨリ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ市街庄長ハ之ヲ再議ニ付セスシテ直チニ州知事ノ指揮ヲ請フ事ヲ得

前項ノ規定ニヨリナシタル市街庄會ノ議決仍明カニ公益ヲ害ス

ト認ムルトキハ市街庄長ハ州知事ノ指揮ヲ請フヘシ

市街庄會ノ議決收支ニ關シ執行スル事能ハサルモノアリト認ムルトキハ前二項ノ例ニヨル左ニ掲クル費用ヲ削除シ又ハ減額シタル場合ニ於テ其ノ費用及之ニ伴フ收入ニ付キ亦同シ

一、法令ニヨリ負擔スル費用、當該官廳ノ職權ニヨリ命スル費用其他市街庄ノ義務ニ屬スル費用

二、非常ノ災害ニヨル應急又ハ復舊ノ施設ノタメニ要スル費用、傳染病豫防ノタメニ要スル費用其ノ他緊急避クヘカラサル費用  
前三項ノ規定ニヨル州知事ノ處分ニ不服アル市街庄長又ハ市街庄會ハ臺灣總督ニ訴願スルヲ得

#### (5) 代議決及代決定ノ權

市街庄會成立セサルトキ又ハ議長議員ノ除斥ノタメニ出席者半數未滿ニ拘ラス臨機ニ會議ヲ開ク手續ヲ取ルモ仍會議ヲ開ク能

ハサルトキ又ハ市街庄長ニシテ市街庄會ヲ招集スル暇ナシト認  
ムルトキハ市ニ於テハ市長ハ市會ノ權限ニ屬スル事件ヲ州會ノ  
議決ニ付シ街庄ニ於テハ街庄長ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ街庄會ニ  
代リ議決又ハ決定ヲナス事ヲ得

州會ニシテ前項市街庄會ノ如ク成立セサルトキ又ハ會議開ク能  
ハサルトキハ市長ハ州知事ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ  
處分スル事ヲ得

市街庄會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ  
例ニヨル

市街庄會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前三項ノ例ニ依ル此ノ場  
合ニ於ケル州會ノ決定又ハ市街庄長ノ處分ニ關シテハ本條ノ規  
定ニ準シ訴願ヲナス事ヲ得

前四項ノ規定ニヨル處置ニ付テハ次會ノ會議ニ於テ之ヲ市街庄

會ニ報告スヘシ

#### (6) 專決權

市街庄會ノ權限ニ屬スル事項ノ一部ハ其ノ議決ニヨリ市街庄長  
ニ於テ專決處分スル事ヲ得

#### (四) 委任事務ノ制限

市街庄長其他吏員ニ對シ國、州其他公共團體ノ事  
務ヲ委任シ得ルハ將來法律、勅令、律令ニ依ルヘキ  
事ニ限定スヘキ事

#### (五) 州知事ノ職務權限

州知事ノ職務權限ノ範圍ハ現行府縣制ニ許サレ  
タル府縣知事ノソレト略均シキ事ニ規定スル事  
而シテ違法越權ノ議決又ハ選舉ニ對抗スル權限



原案執行權、代議決、代決定ノ各項ニ於ケル州會ノ裁決處分ヲ州知事ノ裁決處分ト改メ且ツ各項ニ前記市街庄長ノ職務權限ノ條下ニ述ヘタル臺灣總督ヘノ訴願ヲ認ムル事

第五、州、市街庄ニ於ケル財政ノ管理權ヲ確立スベシ

(一) 行政救濟

市街庄稅其他諸收入ノ賦課ニ關シ違法錯誤アリト認ムル場合又ハ滯納處分ニ關シ違法錯誤アリト認ムル場合ハ市街庄長ニ異議ノ申立ヲナス事ヲ得

右市街庄會ノ決定ニ仍不服ナルモノハ順次州會

臺灣總督ニ訴願スル事ヲ得

第一項ニ關スル州ノ場合ハ先ツ州會ニ異議ノ申立ヲナシ而シテ臺灣總督ニ訴願スルモノトス

(二) 起債

州制第二十九條市制第二十七條街庄制第三十條ノ借入金ヲナス時ハ必ラス夫々州會、市會、街庄會ノ議決ヲ經テ臺灣總督ノ許可ヲ請フモノトス

右州市街庄會ニ提出スル案ニハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ明記スヘシ

(三) 豫算案議決權

州制第三十條市制第二十八條街庄制第三十一條規定ノ每會計年度歲入出豫算提出先ハ夫々州、市

### 街庄會ニ改メ其ノ議決ヲ經ヘシ

而シテ豫算ヲ州、市街庄會ニ提出スルトキハ州知事、市街庄長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘキモノトス  
第一項豫算議決後州知事、市街庄長ハ臺灣總督、州知事ヘ夫々報告ヲナシ且ツ其ノ要領ヲ告示スヘシ

### (四) 決算ノ認定

州制第三十一條市制第二十九條街庄制第三十二條ノ臺灣總督、州知事、廳長又ハ郡守ヘノ決算報告ヲ左ノ如ク夫々州、市街庄會ノ認定ニ付スル事ニ改ムル事

即チ決算ハ出納閉鎖後一ヶ月以内ニ證書類ヲ併セテ會計役ヨリ州知事、市街庄長ニ提出シ州知事、市街庄長ハ之レヲ審査シ意見ヲ付シ

チ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ州、市街庄會ニ提出スヘシ  
決算ハ其ノ認定ニ關スル州、市街庄會ノ議決ト共ニ始メテ之レヲ臺灣總督、州知事、廳長又ハ郡守ニ報告シ且ツ其ノ要領ヲ告示スヘシ

### (五) 會計役ノ出納權獨立確保

市街庄ハ會計ノ公正ヲ期スルタメ會計役ノ出納權ノ獨立ヲ確保スルヲ要ス

即チ會計役ハ市街庄長又ハ監督官廳ノ支出命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且ツ豫備費支出費目流用其他財務ニ關スル規定ニヨリ支出ヲナスヲ得サルトキハ之レヲ支拂フ事ヲ得ス

### (六) 會計検査

市街庄長ハ市街庄ノ出納ニ付キ毎月例日ヲ定メ之ヲ検査スヘシ

又毎會計年度ニハ少クトモ二回ノ臨時検査ヲ爲スヘシ之レニハ市街庄會ニ於テ互選シタル委員二人以上ノ立會ヲ要ス

以上

## 希望事項

- (一) 保甲制度ノ撤廢
- (二) 行政裁判制度ノ實施此レカ實施ノ曉ニハ前記改革要項各條下ニ於ケル行政救濟トシテノ臺灣總督ヘノ訴願ヲ行政裁判ニ付スル事ニ改ムル事
- (三) 義務教育制度ノ撤底的實施
- (四) 公民教育ノ普及
- (五) 婦人公民權賦與ノ準備

以上



4  
9